



関連部署にご回覧ください

LPGC Report

エルピーガス振興センターレポート

第46号 January 2013

☆ 挨拶

- ◆山崎理事長 新年ご挨拶…………… 1

☆ トピックス

- ◆「LPガス国際セミナー2013」開催案内…………… 2

☆ プロジェクトニュース

- ◆第25回世界LPガスフォーラム概況報告…………… 3
- ◆平成24年度「石油ガス消費者実態調査」報告…………… 4
- ◆平成24年度「石油ガス流通・販売業経営実態調査」報告…………… 5
- ◆「LPガスのある暮らし」2012年の紹介…………… 6
- ◆本年度の「液化石油ガス懇談会」の紹介…………… 6
- ◆中国LPG業界発展フォーラム参加報告…………… 6

☆ 事務局からのお知らせ

- ◆第22回LPGC研究成果等発表会 開催報告…………… 7
- ◆平成24年度第二回理事会開催案内…………… 7

- ☆ 編集後記…………… 8

新年ご挨拶



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、エルピーガス振興センターの事業活動に、ご支援・ご協力を賜り誠に有難うございました。

昨年のエネルギー基本計画見直しの議論の中で、LPガスに関する重点施策として言及された「安定供給の確保、高効率LPガス利用機器の自治体と連携しての普及促進、災害対応能力の強化」に向け、本年は、センターの機能を十分に活用することで、その実現に貢献してまいりたいと思っております。

1点目の安定供給の確保に関しては、米国でのシェール随伴LPガスの日本への供給が現実味を帯びる中、極東アジア市場にどのような影響が予想されるか情報発信していきます。本年2月末に開催する国際セミナーでは、「変わりゆくエネルギーフロー～LPガスの役割と責任」をテーマといたします。産ガス国をはじめ国内外の関係者が一堂に会し相互に意見交換を行うことで、安定した供給と低廉な価格を実現する一助となることを期待します。

今後とも、国を含め関係各方面に対し、こうした情報発信を幅広く行っていきたいと考えています。

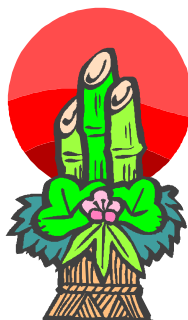
2点目の高効率LPガス利用機器の自治体と連携しての普及促進ということでは、昨年新たに「LPガス消費者実態調査」事業を国から受託し、一般消費者や業務用需要家へのアンケートを行い、現在、分析と取りまとめを行っています。来年度の概算要求にも引き続き計上されているので、この活動を通じ、消費者のニーズや節電意識、災害対応意識等を詳らかにすることで、販売事業者が需要促進活動に着手しやすいよう情報提供を行います。

従来より、LPガスはPRが足りないという指摘がありますので、関連団体とも連携し、普及・啓発を図り、需要開発の促進に努めてまいります。

3点目の災害対応能力の強化については、「東日本大震災を踏まえた今後のLPガス安定供給の在り方に関する調査」の最終報告で示された工程表の実現に向け、地方自治体や消費者団体に理解と協力が得られるよう努力して参ります。昨年11月から本年1月にかけて開催の「地方懇談会」の場を通じ、業界としての防災への取組みや公共施設へのLPガス供給等について、消費者団体、地方自治体と販売事業者との対話を深めているところです。

こうした活動を着実にを行いながら、米国からのパナマ運河経由のLPガス輸入という新潮流を需要開発に結実できるようサポートしてまいります。

本年も、エルピーガス振興センターの事業へのご理解とご支援をお願いし、LPガス業界の益々の発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



エルピーガス振興センター 理事長
山崎 達彦

トピックス

◆「LPガス国際セミナー2013」開催案内

当センターでは、国際交流事業の一環として、平成25年2月28日と3月1日の両日に亘り第一ホテル東京に於いて『LPガス国際セミナー2013』を開催いたします。

今年は、『変わりゆくエネルギーフロー～LPガスの役割と責任』をテーマとし、中東のLPガス主要輸出国、アジアのLPガス主要消費国や米国のガス・ミッドストリーム企業等のLPガス関係会社／機関等から多くの方々に講演していただく予定にしておりますので、皆様方の積極的なご参加をお待ちしております。

本セミナーでは、昨年に続きシェールガスに焦点を当て、米国でシェールガス事業を行っているタルガ・リソーシーズ社の講演を実現いたしました。合わせて、ヨアヒム・グリーグ社にはパナマ運河の拡張とも相まってLPガスの海上輸送がどう変化するかを考察し、アジア太平洋マーケットへ進出する可能性についても展望していただきます。

国際セミナー2012会場風景



一方で、エネルギーフローの変化を踏まえて、日本をはじめとするLPガス消費国側には、LPガスの需要開拓等への取組をご講演いただきます。

なお、2月28日(第1日目)のセミナー終了後、歓迎レセプションを開催致しますので、多数の方々のご参加いただき国際交流の一時を過ごしていただきますよう、併せてご案内申し上げます。

1. 開催日 : 平成25年2月28日(木) 9:30 ~ 17:30
18:00 ~ 19:00 <歓迎レセプション>
3月 1日(金) 9:30 ~ 12:30
※開始・終了時刻は変更することがあります。

2. 開催場所 : 第一ホテル東京(新橋) 5階 「ラ・ローズ」他
東京都港区新橋1-2-6 電話:03-3501-4411(代表)

3. セミナー内容:

- (1) 本年度テーマ: 『変わりゆくエネルギーフロー～LPガスの役割と責任』
Changing Energy Flow: the Role and the Task of LP Gas
- (2) 講演予定者:
- | | |
|---------|--|
| 〔基調講演〕 | パーヴィン&ガーツ社(米国) |
| 〔海外講演者〕 | 世界LPガス協会／仏国、Saudi Aramco／サウジアラビア、Tasweeq／カタール、ADNOC／アブダビ、タルガ・リソーシーズ／米国、広東油気商会／中国、インドオーストラリアLPガス連盟／インド、SKガス／韓国、プルタミナ／インドネシア 他 |
| 〔日本講演者〕 | 経済産業省 日本LPガス協会 |

尚、詳しいプログラムは、1月上旬以降、弊センターホームページに掲載致します。

4. 申込方法: 本セミナーへの申込は平成25年1月上旬から当社ホームページで受け付けます。

5. 参加費 : 無 料 (英日・日英同時通訳付)

(調査研究部 岩田総括主任研究員)

プロジェクトニュース

◆第25回世界LPガスフォーラム概況報告

平成24年9月9日(日)～14日(金)、インドネシア／バリ・ヌサドゥア Westin Resort 国際会議場で第25回WLPGフォーラムが開催されました。バリは熱帯の観光地で、浜辺やプールで水泳を楽しむ行楽客が多い中、熱心な討議が展開されました。

アジア・大洋州、欧州、米、中東、アフリカ諸国等から45カ国の参加があり、フォーラムへの参加者は約1,500名と前回のドーハ大会を超過しました。フォーラム会場に併設されたブース展示会場では、80ブースの出展があり、日本からは伊藤工機(株) 他3社が出展し各国のLPガス関係者から熱心な質問を受けていました。

会議は、フォーラムを2日間行い、WLPGAの「エクセプション・エネルギー」、「クッキング・フォー・ライフ」の普及をいかにすすめるかという問題意識と並行して、各国のLPG業界の現状や成功事例が発表され、質的に高い議論がなされておりました。

中でも、インドネシアの灯油LPガス転換プロジェクトに大きな関心が寄せられ、インドネシア政府とプルタミナから4名が関連のプレゼンテーションを行いました。



会場のバリ国際会議場



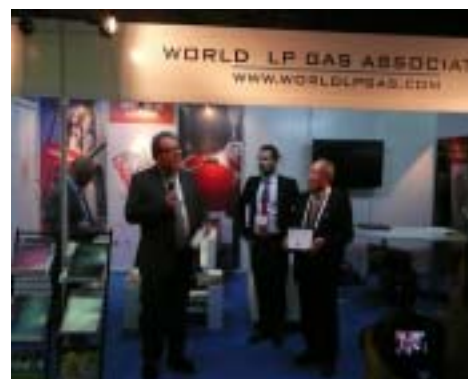
カラ前副大統領

カラ前副大統領は、LPガス転換プロジェクトの立役者で、本プロジェクトは灯油の補助金削減が最大の動機とのことでした。2006年から2009年の任期中に、約5,000万世帯を転換すると明言し、状況によっては強権的にプロジェクトを進めたエピソードも披露され、政府の強力なリーダーシップが成功の要因であるとの説明がなされていました。

同時開催の世界技術会議では、日本から帝都産業(株)、ヤンマーエネルギーシステム(株)、ENEOSグローバル(株)の3社が発表しました。それぞれの内容にオーディエンスの関心も高く、熱心な質疑が繰り返されていました。

WLPGAの理事会と総会において、理事長のラモン・デ・ルイス・セラーノ氏が任期満了で引退し、後任の理事長にキンボール・チェン氏が就任することに決定しました。

次回の第26回フォーラムは、平成25年10月1日～3日 ロンドンで開催されます。



優秀技術賞で表彰された
伊藤工機(株) 内海社長

(調査研究部 岩田総括主任研究員)

◆平成24年度「石油ガス消費者実態調査」報告

当センターでは、今年度、資源エネルギー庁の新たな事業である「石油ガス消費者実態調査」を受託しました。今回、この調査事業の概要について紹介します。

調査方法は、Webによるアンケート調査（家庭用のみ）と、販売事業者の協力を得てその直売先への調査票配布によるアンケート調査（家庭用と業務用）にて実施するものです。今回、初の試みとして、全国の業務用需要家も対象に加えました。

調査内容は、エネルギーの消費実態、節電への意識、災害時におけるエネルギー源の確保やLPガス取引の適正化について質問を行うもので、震災前後でどう変化したかという観点で分析します。



質問の一部を紹介すると、下記の通りです。

- ・あなたがエネルギーを選択する場合、重視する項目を教えてください。
 - ・節電について取り組んでいる内容を教えてください。（8つの事例から選択）
 - ・エネファームについて、導入に対するあなたの考えを教えてください。
 - ・LPガスは分散型エネルギーであるため、災害時も復旧が早い事をご存知ですか。
 - ・LPガスは、災害時に避難所や仮設住宅に有効利用されている事をご存知ですか。
 - ・FRPコンポジット容器を使ってみたいと思いますか。
 - ・GHPはEHPに比べ、節電、省エネ、省CO₂に有効な事をご存知ですか。（業務用）
 - ・LPガスの販売店の訪問時、どんな情報がほしいと思いますか。（業務用）
- 等

業務用需要家については、LPガスの販売量が多い上位6業種、1位飲食業（51%）、2位介護事業等（15%）、3位宿泊業（11%）、4位飲食料品小売業（10%）、5位医療業（7%）、6位洗濯業・理容業等（6%）を対象にアンケートを実施しました。

昨年11月にアンケートの回収が終了し、家庭用で11,501件（Web10,318件、調査票1,183件）、業務用で952件の回答を得ることが出来ました。

今後、追加調査として、アンケート回答者の中から、家庭用30件と業務用50件程度の面談ヒアリングを行い、上記アンケート結果と合わせて分析のうえ、3月末に報告書にまとめる予定です。皆様には、6月頃に、当センターのHPで結果をご紹介できる予定です。

今回の調査が、一般家庭における需要開拓や、業務用の高効率消費機器への転換の一助になることを期待しております

（技術開発部 小山総括主任研究員）

◆平成24年度「石油ガス流通・販売業経営実態調査」報告

本調査は、経済産業省より受託した調査で、以下の目的で行うものです。

- 1) LPガス販売事業者における経営の合理化、近代化を図り、LPガスの低廉で安定的な供給に資する情報を把握するため、LPガス販売事業者の経営実態を把握する。
- 2) 家庭用等LPガスの配送部門におけるCO₂排出実態と低炭素化に向けた取組状況について実態を把握する。

具体的調査内容は、以下の通りです。

1) LPガス販売事業者の経営実態調査

LPガス販売事業者の売上高、売上原価等の経営状況と諸問題等の状況を把握するため10,000事業所にアンケート調査を実施し、経営状況等を分析し、結果を取りまとめます。

今年度は、事業者の規模別（大規模／小規模）による経営状況や販売動向の違いや傾向の把握に力点を置きます。

2) 家庭用等小口需要向けのLPガス配送の低炭素化調査

LPガス配送を実施している事業者を対象に、LPガス配送の低炭素化へ向けた取組実態を把握するため、配送業務の分業化及び協業化の状況及びLPガス配送車両の管理・運行状況等を調査します。昨年度の調査から発展させ、本年度は全国の充てん所も対象に加え、約2,300事業所へアンケート調査を実施します。

加えて、現地調査を行い、配送合理化を行った配送専門事業者を中心に、EMS機器※の効果的な運用方法について重点的にヒヤリングします。最新のEMS機器についても調査を行い、一般の販売店でも利用可能な配送時の低炭素化への取組方法について、検討を行います。

更に、低炭素化の取組を先進的に行っている宅配事業者等の他業界のヒヤリング調査を行い、業界として配送の低炭素化に向けた取り組みの検討に役立てていきます。

※EMS (Eco-drive Management System) 機器とは、省燃費・省CO₂をすすめるエコドライブを更に効果的に実現しようとするための機器です。

EMS機器には、自動車に取り付けるデジタルタコグラフやドライブレコーダー等といった車載器が一般的です。車載器から、車速・走行距離・運行時間などの運転データを取得し、エコドライブの観点から分析し、運行診断結果を出力します。

<デジタルタコグラフ>



<ドライブレコーダー>



(調査研究部 八鍬総括主任研究員)

◆「LPガスのある暮らし」2012年の紹介

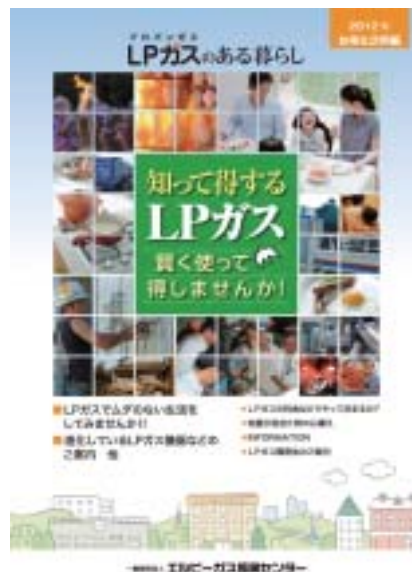
広報室では、LPガスをお使いの消費者向け啓発活動の一環としてパンフレットを発行しています。

本レポートでは、昨年10月末に発刊しました『LPガスのある暮らし』2012年「お得な活用編」をご紹介します。

本号は「知って得するLPガス。賢く使って得しませんか!」との企画です。「LPガスでムダのない生活をしてみませんか!!」と提案し、進化しているLPガス機器の特長を掲載し消費者の皆様にご案内しています。

当小冊子は70万部を作成し、消費者団体及び自治体、事業者団体を通じて、また「LPガス講習会」の開催時に消費者の皆様へ届けております。

(広報室 福田室長代理)



◆本年度の「液化石油ガス地方懇談会」の紹介

経済産業省からの受託事業である石油ガス流通合理化調査事業の一環として、毎年液化石油ガス地方懇談会を全国9ヶ所で実施しています。消費者団体、LPガス販売事業者と行政関係者等によりLPガスの流通や取引に関する諸問題等について意見交換を行うもので、本年度は次の通り実施しております。

＜スケジュール＞

北海道	12月 4日	東北	1月29日
関東	11月 1日	中部	11月29日
近畿	12月11日	中国	11月15日
四国	1月 9日	九州	12月13日
沖縄	1月23日		



経済産業省からは、基調説明として、LPガス業界を取り巻くエネルギー政策の動向、需給状況や業界として対処すべき課題とそれに向けた取組状況の説明がなされています。

懇談会のテーマとして今年度は、災害に備えたLPガス事業者の取組状況と課題を取り上げ、消費者団体と地方行政の方々に理解と協力をいただこうと企画しております。

懇談会の進め方につきましては、関係各位より既に様々なご意見を頂いております。懇談会の果たすべき役割を踏まえ、地域毎の課題とその解決へ向けての取り組みを重視し、一層充実した懇談会となるよう、委託先である経済産業省とともに進めてまいります。

(広報室 安藤室長)

◆中国LPG業界発展フォーラム参加報告

昨年11月6日、北京において開催された、中国都市ガス協会LPG専門委員会主催の「中国LPG業界発展フォーラム」に参加して来ました。

中国都市ガス協会は、中国国務院住宅・都市建設部の指導を受ける民間組織で、国内唯一の都市ガスに関する全国規模の業界組織です。日本で言えば一般財団法人に当たります。その中にLPG専門委員会が設置されています。

当日発表された報告は、以下の8項目でした。

1. 中国LPG業界の位置付けと発展の方向
2. 小型LPGタンクによるガス供給の技術的研究
※日本でいうバルクシステムのこと
3. 中国LPGフォークリフトの現状と問題に関する考察
4. ボンベの安全物流ネットワーク管理システム
5. LPGボンベRFIDスマートバルブと物流ネットワークの技術応用に関する考察報告
6. 低迷する経済環境における中国LPG業界発展のチャンスと挑戦
7. シンガポールにおけるボンベLPGのユーザーサービスと物流管理
8. ボンベLPGの安全制御システムに関する検討



中国では、大都市での家庭用・業務用燃料がLPGから天然ガスへと急速に転換されており、LPG業界は地方中小都市及び農村部へ展開して新規需要の開拓を積極的に進めています。

頻繁する爆発事故に対応した安全対策の改善も急務となってきています。この安全対策に関しては、先ごろDMEを家庭用・業務用LPガスへ混入させる実証試験が終了し、来年には国家基準としてDMEの混入率及び専用ボンベの規格が発表される見込との報告がありました。

今後も、既述のLPG専門委員会との交流を通じて中国のLPG事情に関する状況把握に努めたいと思います。

(調査研究部 宮総括主任研究員)

事務局からのお知らせ

◆第22回LPGC研究成果等発表会 開催報告

9月26日(水) 虎ノ門ツインビルディング カンファレンスホールで『第22回LPGC研究成果等発表会』を開催し、約160名の方々に参加いただきました。

特別講演として、昨年に引き続き、一橋大学大学院商学研究科／橘川教授をお迎えし、「エネルギー政策の見直しとLPガスの役割」という演題にてご講演いただきました。エネルギー政策の見直しの中で、LPガスに求められる期待と課題につき示唆に富んだご講演をしていただきました。

また、当センターからは2つの自主事業と1つの受託事業の講演を行いました。当日発表の講演内容は、以下の通りです。

- ・「東アジアのLPガス需給バランスの変化を読む(変わりつつあるLPガスフローのゆくえ)」
- ・「LPガス業界の低炭素社会の実現に向けて(カーボンオフセットの動向と当センターの取組み)」
- ・「石油ガス流通・販売業経営実態調査(配送の低炭素化への取組みについて)」



◆平成24年度第二回理事会開催案内

平成24年度理事会の開催を下記の通り予定しております。

日 時 : 平成25年3月22日(金) 12:00～

場 所 : 霞山会館(牡丹の間) 霞が関コモンゲート西館37階

議 案 : 平成25年度事業計画及び収支予算案 他

編集後記

秋から冬を経て年度末にいたる期間は、エルピーガス振興センターが最も活気付く季節です。今回の LPGC Report で紹介しているようなすべての事業が同時並行で走っている時期だからです。新年を迎えると、いよいよ各事業とも最終取りまとめに向け一層の拍車が掛けられることになります。

逆に4月になり新しい年度に入ってしまうと、新年度の事業が本格始動するまでは余裕が生まれることになります。センターではこの時期を活用しつつ自主事業に取り組んでおりますが、やはり国の委託事業は規模も大きく内容もかなり充実しており、影響度も大きくやりがいのあるものです。

願わくば、もう少し早いタイミングで国の事業が実施できるとありがたいものです。国の事業は原則としてすべてが公募・入札で委託先が決められているため、どうしても実際の事業開始は遅くなってしまうのです。やむを得ないことではありますが、もう少し時間があれば一層内容の充実が図れるのにと悔やまれることが多いのも事実です。

ところで、エネルギー基本計画の見直し作業は途中段階のままとっていますが、選挙も終わったので、何らかの形で再開されることになると思われます。国にはいろいろな審議会が設置されていますが、そこは対立する政治理念を対決させる場ではなく、事実に立脚しその分析を通じて今後の施策の方向性を検討するための場だと思います。是非、引き続き多角的な検討がなされることを期待したいものです。

エネルギー基本計画ならずとも、事実に立脚して今後のあるべき姿を検討することはとても大事なことだと思います。当センターでは、エルピーガス事業者を対象とする「流通・販売業経営実態調査」、消費者を対象とする「消費者実態調査」といった調査事業を実施しています。事業者の置かれている経営環境や消費者のエルピーガスに対する意識などを調査するものです。いわば、エルピーガスに関連して世の中でどのような事象が進行しつつあるのかという事実を把握するための調査といってもいいでしょう。

エルピーガスに対しては、低廉かつ安定的な供給の確保、取引の適正化を図ることはもとより、節電やCO2排出削減への貢献、災害対応など、いろいろな期待が寄せられているところです。

上記の調査で事実を把握しその分析を通じて、こうした期待の実現に貢献できるよう努めて参りたいと考えておりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(専務理事 菊岡)



PG 一般財団法人 **エルピーガス振興センター**



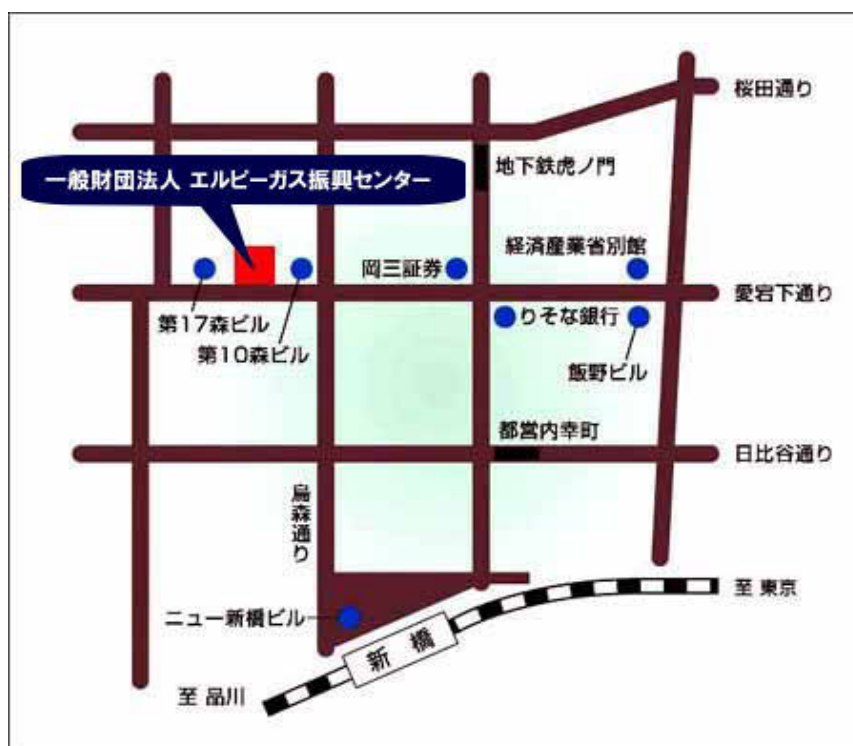
〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目 19 番 5 号 虎ノ門一丁目森ビル4F

TEL : 03-3507-0041 (代表)
03-3507-0046 (広報室)

FAX : 03-3507-0048

ホームページURL : <http://www.lpgc.or.jp>

E メールアドレス : info@lpgc.or.jp



♪ 送付先変更等のご連絡は、FAX又はEメールをお願いします ♪

変更届はこちらからダウンロードできます

<http://www.lpgc.or.jp/corporate/inquiry>